

熊谷市立成田星宮小学校 学校研究構想グランドデザイン

1 研究のねらい

- (1) 各教科の学習内容や見方・考え方を横断的かつ統合的なカリキュラムマネジメントにより、「世に立つ力」(汎用的な能力)を育成する。
- (2) 中学校における「総合的な学習の時間」への接続を見据え、小学校段階(3～6年生)における探究的活動の単元計画モデルを研究
- (3) 教師がESDの6つの概念を軸に、学びのファシリテーターとなることにより、子供一人一人が様々な角度から探究し、深い学びを実現する授業研究
- (4) SDGsをテーマに、児童に身に付けさせる7つの力・態度を明確にした総合的な学習の時間により、目指す児童像及び「世に立つ力」の具現化を図る。

2 研究構想

学校教育目標

「世に立つ力」 — 知・徳・体を磨き 未来を拓く —

第2次熊谷市総合振興基本計画
後期基本計画(2023-27)

ESD(持続可能な開発のための教育)
ESDの推進に向けた教科等
横断的なカリキュラムの
改善・実施

熊谷市教育振興基本計画

「新熊谷プロジェクト」
知・徳・体のバランスのとれた
「学力日本一」を目指す

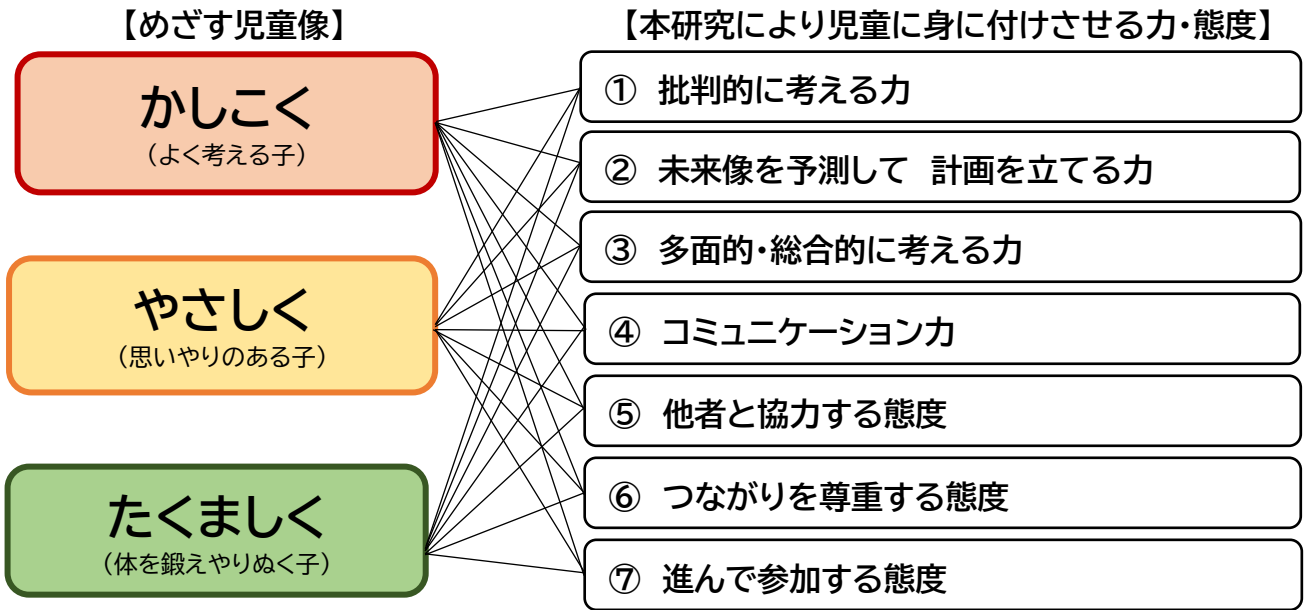
※ESD とは… 現代社会の問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のこと

SDGs×総合的な学習の時間 学びの改革

— 成田星宮小から 持続可能な 未来を拓く —



3 本研究により児童に身に付けさせる7つの力・態度



① 批判的に考える力

- ・他の意見や考え、他からの情報をうのみにすることなく自分なりによく考え、理解し、取り入れることができる。
- ・得られた情報をもとに、積極的、建設的によりよい解決策を考えることができる。

② 未来像を予測して計画を立てる力

- ・課題に対して、先の見通しや、目的や目標をもって計画を立てることができる。
- ・相手や他人がどのように受け止めるかを考えながら予測して計画を立てることができる。

③ 多面的、総合的に考える力

- ・色々な角度から物事を見ることができ、他の事象等を関連付けて考えることができる。
- ・見方や考え方の方向性を変えれば、不要物も資源になるなどを考えることができる。

④ コミュニケーション力

- ・自分の考えや思いを簡潔にまとめて他者に発信することができる。
- ・他者の話を聞き、考えや意見を積極的に取り入れ、自分の考えを再構築できる。

⑤ 他者と協力する態度

- ・班やグループの仲間と協力したり、励ましたりしながら活動することができる。
- ・相手の立場や状況を考え、前向きな行動をとることができる。

⑥ つながりを尊重する態度

- ・目に見えない様々な物事とつながりがあることを理解し行動できる。
- ・人は一人でなく色々な人やモノの恩恵を受けて生きていることが理解できる。

⑦ 進んで参加する態度

- ・自分の言動に責任をもち、主体的に活動に参加することができる。
- ・自分の役割を理解し、進んで他者のために行動できる。

4 研究に係るつながり・組織図

熊谷市総合振興基本計画 後期基本計画(2023-2027)
ESDの推進に向けた教科等横断的なカリキュラムの改善・実施

新熊谷プロジェクト(熊谷教育 指導の指針)
教科横断的でオーセンティックな授業

学校教育目標
「世に立つ力」 - 知・徳・体を磨き 未来を拓く -



SDGs×総合的な学習の時間 学びの改革

— 成田星宮小から 持続可能な 未来を拓く —

【令和6年度 スローガン】 仲間とつながる 思いをつなげる 未来とつながる

仮説1 各教科等の学習内容を横断的かつ統合的に取り入れた指導計画モデルの構築により、児童が「探究的な学び方」を段階的に身に付け、学力(汎用的能力)を高めることができるだろう

仮説2 教師がESD6つの構成概念を軸にし、ファシリテーターとなる授業展開により、児童が総合的な学習の時間における見方・考え方を働かせ、深い学びにつなげることができるだろう

仮説3 学びの環境づくりを推進することにより、「世に立つ力」の見える化を図ることができるだろう

研究推進委員会

(校長・教頭・研究主任・総合的な学習の時間主任・各ブロック長◎・各チーム長◆)

授業研究委員会

中学年ブロック	高学年ブロック	低学年・特別支援ブロック
◎	◎	◎

学びの環境づくり委員会

教材開発チーム	SDGs 環境づくりチーム	調査・分析チーム
◆	◆	◆

5 現状と ESD の教育的意義

- 環境問題 → 地下資源の過剰消費・不要物の大量廃棄・生物生態系の破壊等の解決
- 国際問題 → 国際協調・人権侵害・他民族や他文化の理解不足の解決
- 社会問題 → 社会秩序の低下・地域社会の結びつきの低下等の解決
- 心の問題 → いじめや暴力行為問題・不登校問題等の解決
- 学力問題 → 知・徳・体のバランスのとれた力の育成・汎用的能力等の育成

→持続可能な開発のための教育(ESD)が求められている

ESD とは…現代社会の問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のこと

6 ESD の視点にたった学習指導の目標

【目標】「すべての人が質の高い教育の恩恵を享受し、また、持続可能な開発のために求められる原則、価値観及び行動が、あらゆる教育や学びの場に取り込まれ、環境、経済、社会の面において持続可能な将来が実現できるような行動の変革をもたらすことであり、その結果として持続可能な社会への変革を実現すること」

(出典 我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画 より)

【構成概念】

- I 多様性(いろいろある)
- II 相互性(関わり合っている)
- III 有限性(限りがある)
- IV 公平性(一人一人大切に)
- V 連携性(力を合わせて)
- VI 責任性(責任をもって)



成田星宮小 ESD では、左の**6つ**の概念をもとに課題を見出し、**考え、解決**していく学習プロセス、探究的な学びを通して、子供たちの学力、非認知能力を高める研究に取り組めます。

成田星宮小学校では、総合的な学習の時間を中核とし、ESD の視点にたち教科等横断的・統合的に資質・能力を育成します